

チョウセンフデ

分類：新腹足目 フデガイ科 フデガイ亜科 (腹足綱)
 学名：*Mitra mitra*
 英名：Miter

沖縄以南の10~20mの浅い珊瑚礁の砂の中に生息するので、ドレッジにより採集される。本邦のフデガイ科の中で最大種で15cmに達する。頂部に僅かに彫刻が見られるが殆ど平滑で、白地に鮮やかな紅色の斑紋が浮き出た派手な巻貝である。小型のものは紅色の斑紋の数が少く又個体により模様が少しづつ異なる。形状が筆の穂に似ているので和名の由来するところである。



チョウセンフデ



M. episcopalis



チョウセンフデ



チョウセンフデ



M. episcopalis



M. episcopalis



オニキバフデ M. papalis



左に同じ



タケノコガイ

分類：新腹足目 タケノコガイ科 (腹足綱)
 学名：*Terebra subulata*
 英名：Subulate auger

四国以南の暖海の潮間帯から10m位の浅所に生息する。殻は大型で厚みがあり螺層は短く30層内外を数える。縫合下は少し膨れるが下帯の彫刻はなく光沢があり、白色又は淡い褐色味をおびたピンクの地肌黒味をおびた褐色の方形の斑紋が顕著に見られる。各層の斑紋は2帯であるが最後の層は3帯になって、タケノコの根に見たてて和名の起因するところである。殻長15~20cmリュウキュウタケ*Subula oxymetris maculata*は螺層が前者より少く15層内外で殻は下層で膨らみが増大している。一輪挿花瓶などの貝細工に利用される。



リュウキュウタケ



下方、タケノコガイ

上方学名はリュウキュウタケなるも図が異なる。

